



3年生ってこんな子ども

(1) 身体の発達

3年生ぐらいから、語彙の獲得能力が伸び、抽象的思考が可能になると言われています。また、体力の増大や人間関係の充実も手伝って、興味の対象や活動範囲が急速にがり始めます。

成長期のまっただ中にあり、骨と筋肉が成長し運動能力が向上するため、幼い体つきから筋肉の引き締まったしなやかな体つきに変化していきます。運動面では、心肺機能が特に発達し、瞬発力や持久力が高まるため、走ったり、投げたり、といった能力が目立って進歩します。手先が器用になり、競争心や仲間意識が芽生えるので、ボールゲームなどのチーム競技が楽しめるようになります。

(2) 心の発達

① 仲間づくりの時期

- ・人間関係が、親子関係を主体としたものから、友だちを主体としたものへと移行します。
- ・2, 3人での遊びから、サッカーやドッジボールなど、大勢で遊ぶことを好むようになります。
- ・集団として活動し始め、グループを作り、リーダーになる児童も現れます。人間関係から多くのことを体得し、社会生活を送るための基盤を身に付けていきます。「ギャングエイジ」と呼ばれ、仲間内のつながりを重視するようになり、仲間にもそれを求めます。
- ・自己主張が強くなり、仲間はずれやけんかもよく発生します。

② 自我の芽生え

- ・自分なりの考え方もつようになり、理屈を言うようになります。
- ・自分が周りからどう見られているかを気にするようになり、社会のしくみがどうなっているかなどに関心が広がっていきます。

(3) 「生活圏」の拡大

- ・行動力がつくとともに行動範囲が広がり、自転車で遠くまで出かけたりすることもあります。

学年目標

- ・話をしっかりと聞く子
- ・だれとでも仲良く協力する子
- ・元気よく体を動かす子

3年生から始まる学習

「生活科」が「総合的な学習の時間」・「理科」・「社会」に変わります。

- ・総合的な学習(自分から課題を見つけ、主体的に問題解決をする力を身に付けていきます。)

＊蚕を育てて絹糸をとろう

＊練馬大根を育ててたくあんづくりをしよう

- ・理科(専科の先生とTTで学習し、観察の仕方・調べ方・まとめ方の基礎を身に付けます)

＊植物や昆虫のからだのつくり

＊風やゴム・太陽のはたらき

- ・社会(基本的な地図の見方を基に、自分たちの地域・練馬区のことを調べていきます)

＊谷原・練馬区の土地の様子や使われ方・交通

＊商店で働く人の仕事

『音楽』『図工』を専科の先生に教えていただいたり、リコーダー毛筆習字も始まります。



活動のようす



町探検の発表

